

『源氏物語』を読みはじめる

～石山寺蔵『源氏物語画帖』と源氏絵～

『源氏物語』を読んだことがある人も、ない人もこれを機に「読みはじめ」ませんか。琵琶湖畔の石山寺は、紫式部が参籠して『源氏物語』を起筆した伝説の寺です。石山寺所蔵の源氏絵を中心に鑑賞しながら、『源氏物語』の謎とき、魅力に迫りたいと思います。

●日程及びテーマ

回	月 日	テ ー マ
第1回	5月31日(金)	「桐壺」光源氏の名づけ親は誰？
第2回	6月28日(金)	「帚木」人妻、空蝉は夫と光源氏、どちらがお好き？
第3回	7月26日(金)	「空蝉」女性違い！そのとき光源氏のくどき文句は？
第4回	8月23日(金)	「夕顔」夕顔は、なぜ死んだの？
第5回	9月13日(金)	「若紫」光源氏は、なぜ若紫に恋をしたの？



●講 師 池田 大輔 滋賀文教短期大学 国文学科 講師
担当科目:中古の文学、中世の文学

●時 間 13:30～15:30

●定 員 20名

●会 場 滋賀文教短期大学 実習館1階 湖国カルチャーセンター

●受 講 料 2,000円

*テキストは当カルチャーセンターでプリントを準備します。話し合いの時間を設けます。

●申込方法 はがき又はFAXにて

①講座名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号

を明記してください。*お電話での申込受付は行っておりません。

●申込締切日 5月24日(金)